



▼群馬のスマイルプロジェクトの方たちとの1枚

中村 仁

管理部 企画広報課 課長

新しいプロジェクトのスタート

「社員のお子さん向けに、起業家教育や非認知能力教育に取り組みCEOキッズアカデミーを導入していただけませんか」。

そう相談すると、高橋からは予想せぬ言葉が返ってきた。

「それ、さくらの新事業にしよう！」

高橋からの返答は、まさに青天の霹靂だった。聞けば、折しも高橋は学習塾の買収を打診されていて、起業家教育導入のためにその話を受けてくれるという。不思議なタイミングと縁に導かれるようにして、さくらの門をくぐった中村。高橋への恩と責任の重さを胸に、次なる挑戦が幕を開けたのだ。入社とともに企画部が新設され、宮城県内の子どもたちに教育機会を提供するイベントの企画・運営が本格的にスタート。宮城スマイルプロジェクトとして立ち上げ、さまざまな学びを通して子

社外にも社内にも、熱意を伝えていく

もたちの選択肢を広げるべく奮闘している。年間3〜4回のイベントには多くの子どもたちと保護者が足を運び、これまでの来場者数は延べ3500名にも及ぶ。

「東北、特に宮城は全国的に見ても不登校の子どもが多い地域です。悩みを抱える子どもたちや保護者の方がイベントに参加することで少しでも笑顔になり、未来へのヒントを見つけられれば、それに勝る喜びはありません」。

イベントはさくらがメインスポンサーとして開催され、毎回配管施工体験も行われている。さくらの職人たちが笑顔で子どもたちに接し、配管の技術をわかりやすく伝えている様子を見ると、思わず胸が熱くなるという。この試みは宮城から東北へ、そしていずれは日本全国へ広げていくつもりだ。「入社にあたっては企画部の発

（前編の続き）

「単に答えを教えるのではなく、一人ひとりの子どもたちが本来持っている力を引き出し、子どもが自分の力で答えを導き出せる環境を作りたいと思ったのです」。

新天地で、小学校から高校までの子どもたちと向き合い、コーチとしてリーダーシップ教育に携わるようになった中村仁。子どもたちが少しずつ自信を身につけて明るい表情になっていくのを間近で見たり、保護者から感謝されたりするのは大きな喜びだった。コーチング業は、中村にとってまさに天職だったのだ。

さくら株式会社、そして高橋との出会い

多くの子どもたち、そして保護者と関わりながら、いきいきと業務にあたっていた中村。結婚を機

「職人」の一人として……

足など、高橋社長からの全面的なバックアップがありました。社内からは少なからず反発の声が上がったと思います。新たな事業の内容やそこに込められた思いを社員の皆さんに伝え、理解してもらうように努めるのも、私の責任の1つだと思っています」。

鮭専門店とコーチング業を経てさくらへ辿り着いた中村は、この3つの仕事に共通するキーワードを「職人」だと語る。研ぎ澄まされた包丁で、狙った分量に鮭を切り分ける職人技。苦手な魚に果敢に挑戦したことで視座が変わり、大きな学びを得た。その後携わったコーチング業も、十人十色の子どもたちや保護者に寄り添って無限の可能性を引き出すという点で、職人の仕事だったと言える。そして、配管に携わる職人一人ひとりが、プロフェッショナルと

に妻の地元である宮城へ移り住むと、個人事業主として働く運びとなった。元自衛隊員である義父を通して、さくらの社長、高橋和義と知り合ったものの、当時はまさか自分がさくらの一員になるとはまったく予想していなかった。

コーチング業は天職ではあったが、個人事業主として事務所を借りると支出がかさみ、会社員の頃に出ていた賞与もないため、将来への不安を感じる瞬間もあった。子宝に恵まれ、「この子にどういった教育ができるだろうか」と考えたとき、頭に浮かんだのが起業家教育を目指すCEOキッズアカデミー。自分の娘だけでなく多くの子どもたちに、自らの力で未来を切り拓き、0から1を作り出せる大人になってほしい。そのために、自分には何ができるだろうか……。そこでふと思い出したのが、高橋の存在だった。

しての誇りを胸に活躍しているさくら。職種は違えど、自分も同じ会社の一員として地域に貢献できる喜びと誇りを感じながら、今日も力強く前進を続ける。

中村の心の中で燃え続けている情熱の炎。その炎が宮城という枠を飛び越え、東北へ、そして日本全国へと広がっていく日も、そう遠くはないだろう。

企業情報

設立年：2012年4月

年商（さくら株式会社）：12.8億円

年商（さくらグループ全体）：17.2億円

※ 2025年3月決算時点

中村 仁さんってこんな人！

圧倒的な行動力と、何事にも全力で取り組む姿勢を持って周囲に刺激を与えている中村さん。高橋社長と藤原さんにそれぞれの視点で中村さんの魅力を語っていただきました。



代表取締役社長
たかはし かずよし
高橋 和義さん

中村さんとの関係性

縁が繋がってくれた出会い

当社では自衛隊からの採用も行っていますが、実は自衛隊の求人担当が中村さんの義理のお父様。その繋がりが出会いのきっかけとなりました。言葉のやり取りがしっかりしており、「真面目な青年」というのが第一印象です。

中村さんを一言で表すと

「非常に行動力のある人」

中村さん以上に行動力を持つ人はいないと思います。行動するスピードも早ければ、行動する範囲も広い。中村さんのおかげで私の人脈もどんどん広がっていています。

思い出エピソード

初回から3500人が集まる大イベントを主導

「おやこ未来フェスタ」というイベントを錦ヶ丘ヒルサイドモールで開催した時のことです。その主体となって動いていたのが中村さんでした。当初、私は「200～300人来てくれたら良いな」と思っていたのですが、なんと初回の来場者数は3500人！今では大きなイベントとして宮城県内でも浸透しており、中村さんの行動力には驚いています。

メッセージ

お前に出会えて良かった。

中村さんとの関係性

協力し合う「仲間」のような存在

約1年前に中村さんが入社した際、社長から新設される企画部の指揮を取る方だと紹介されたのが出会いでした。呼び方は「じんさん」。同じ部署で働いたことはありませんが、中村さんが企画するイベントのサポートなどを通して、お互いに協力して仕事を進める機会が多く、いつも良い刺激をたくさんもらっています。

中村さんを一言で表すと

「エネルギーギッシュ」

どのようなときでも一生懸命で、何ことにも手を抜かずに全力で取り組むことができる方です。中村さんを見ていると「自分も頑張らないと！」という気持ちになり、いつも元気づけられています。

思い出エピソード

大規模イベントの開催が 良い経験に

2024年10月末に、錦ヶ丘ヒルサイドモールで「おやこ未来フェスタ」という大きなイベントを開催しました。その指揮を取っていたのが中村さんです。私もこのイベントに携わっており、お互い初めての経験で大変なこともありましたが、無事に終えることができました。皆が中村さんを頼りにしていて、イベント準備中は常に誰かに呼ばれていた印象があります(笑)

メッセージ

中村さんに負けず、私もエネルギーギッシュに頑張っていきます。これからもよろしくお願いします！



管理部 総務課
課長
ふじわら ちえ
藤原 知恵さん

「こども未来フェスタ」イベントレポート

2025年3月に開催された「こども未来フェスタ」の模様をお届けします！

当社がメインスポンサーであるこのイベントも、今回で2回目。

事前準備を入念に行ったこともあり、当日は多くのお子様が集まり、さまざまな職業を体験したようです。



▲食品サンプルづくり体験

当日の様子▶



▲当社から参加したメンバー

管理部企画広報課
課長
なかむら じん
中村 仁さん

イベントの概要

子どもたちの未来を広げる、 学びと体験の場

「こども未来フェスタ」というイベントを、イオンモール富谷で開催しました。2024年10月にも行っており、今回で2回目となります。開催のきっかけとなったのは、群馬を中心に展開された「スマイルプロジェクト」。私の友人が主催しており、プロジェクトの一環として開催されたイベントをロールモデルに、宮城でも開催させてもらったかたちです。今回のこども未来フェスタは2日間の開催。いちご農家さんにご協力いただいたワークショップを始め、さまざまなお仕事体験を行いました。子どもたちに起業家としての視点を持ってもらいたいという狙いもあり、両日ともそういった学びが得られるようにしています。

やりがいを感じたこと

子どもたちの笑顔が さらなるモチベーションに

今回は富谷市と大和町から後援をいただき、幼稚園・保育園・小学校のすべてにチラシを配布させていただきました。そのかいがあり、多くの方にご来場いただくことができました。そして何より、子どもたちを笑顔にできたことが、私にとって大きなやりがいとなりました。しかし、事前予約が多く集まった分、当日枠をあまりご用意できなかったという課題も残りました。こちらも改善を行い、より多くの笑顔に繋がっていきたくと考えています。

当日の様子

2日間とも、想定していた以上の盛況ぶり！

当社からは、受付担当やお仕事体験担当の職人を含め5名が参加。1日目は、お子さんに園の服を着てもらって写真撮影する「園服スマイル撮影会」が人気でした。プロのフォトグラファーに撮影してもらえるということで、親御さんからの注目が高かったのではないかと。また、いちご農家さんに直接ご指導いただいたワークショップも大盛況！パッケージをデザインしたり、商品ターゲットを想定してメッセージを添えたりなど、楽しみながら起業家としての基礎を学んでいました。もう一つの目玉となる、お仕事体験も大成功だったと思います。配管施工体験も行ったのですが、想定以上の人気で、途中で材料がなくなっていました。ここは次回に向けて、改善したいと思っています。

今後の目標

2025年9月13～14日にイオンモール富谷、9月20～21日(予定)にイオンモール名取で「あそびまなびランド」という職業体験イベントを開催します。今回の反省を踏まえ、より多くの子どもたちが参加できるように調整中です。体験ブースの数も10～12種類まで増やす予定。こちらを成功させることが、今の一番の目標です！



▲学生ボランティアチームの皆様